

志免中学校で出前授業

新聞の読み方、作り方を学んだ



講師の野口智弘さん(右)から新聞の作り方を学ぶ志免中の生徒たち

新しい新聞の発行を目指す

西日本新聞

発行所

西日本新聞社

福岡市中央区天神一丁目
4番1号(〒810-8721)
©西日本新聞社

志免町立志免中学校
出前授業記念号

2026年
9月10日(木)

こどもタイムズ編集部

TEL : 092 (711) 5558

<http://kodomo.nishinippon.co.jp>

福岡県糟屋郡志免町の志免中学校(仲村夏江校長)で10日、新聞の作り方を学ぶ出前授業があり、校長先生、生徒など10人が熱心に話を聞いた。講師は、西日本新聞社こどもタイムズ編集部の野口智弘さんが務めた。志免中では、2021年2月、新聞部がNPO法人志免地域支え合い互助基金と協働で「ほほえみ・結ぶ・しめ新聞」を創刊。今年2月には「支え合い新聞社」として活動開始したこと、から、改めて新聞作りを学ぼうと授業が行われた。

授業では、この日の朝刊が全員に配られて、紙面構成や新聞の読み方を説明した。

新聞の書き方として、記事をまとめる際に5W1Hが重要と紹介。紙面を作るときには見出しやリードを工夫すること、見出しは12文字以下であれば、文字ではなく映像として理解しやすい」と野口さんは伝えた。続けてインタビューでは事前調査、メモを取る、聞き役に徹する、なぜを思いつて取材してほしい」など、七つのポイントを語った。

話を聞いた山口紗奈さんは新聞の読み方、書き方を聞いて、話を参考にして、信頼できる新聞を作りたい」と話した。今後、新聞作りのためにデザインを学び、志免町で取材したことをまとめて、新たな新聞を発行する。